



Dr.セッキー
日本文化研究所
2015

「日本文学（近代文化）」講義
物語読解方法論 国語科研究
◆ 作家論を考える その1



1

考えてみたいこと

Dr.セッキー
日本文化研究所
2015

- ◆ ①、批評とは？
- ◆ 逆に言うと人を批評できる根拠は何か？
- ◆ ②、我々は作家に何を期待しているのか？
- ◆ 単に面白いものを創ってくれていいのか？
- ◆ ③、理想的な読書とは作者に近づくことか？

2

文壇とは

Dr.セッキー
日本文化研究所
2015

作者 批評家

文壇
読者

お互いに作品を読み合いながら批評し合う職業集団

3

批評家とは

Dr.セッキー
日本文化研究所
2015

読解能力も
経験値も普通

読解能力高い
読書経験値高
い

基本的に読者は利口も馬鹿もいる

そもそも読
書しない

常に、間違える可能性
大衆は、よく間違える
大衆は、流行に囚われる
流行は、一過性のもの

4

批評家とは

Dr.セッキー
日本文化研究所
2015

ポップカルチャー（大衆文化）

ここから下が大切になる

◆ 人気によって価値が決定する

出来れば、こども

人数が少ないので
いくら受けても
人気に繋がらない

難しいのは、駄目
嫌われるのは、駄目
興味を持たれないのは、駄目
流行っていないのは、駄目
簡単
わかりやすい
単純・明快

5

批評家とは

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2015

高度な専門的知識と経験が前提にある

マニアの世界では



6

戦前の古典文学と近代文学

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2015

古典文学 発見し、考証し、研究する対象
(既に歴史の洗礼を受けている)

近代文学

- ①、研究する対象ではない
- ②、生まれてくる作品の価値を言い合う

↓

批評

批評とは、作品の価値づけを行うこと

7

批評する根拠

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2015

文学を批評する(よいか悪いかをのべる)には

文学が正しく読めていなくてはいけない

正しく読めている根拠は

作家の意図を掴んでいるか

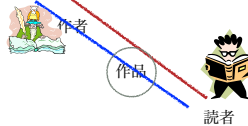
その意図が、作品上で
成功しているか
失敗してしまったか

8

「批評」にはこんな前提 があった

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2015

作者の意図
メッセージなど



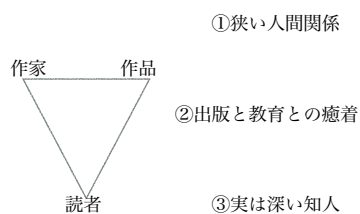
よい作品は、作者の意図を正確に伝える
正しく読めば、作者の意図に辿りつくはずだ

9

何故作家の意図を当て られる？

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2015

戦前の文壇



10

何故作家の意図を読みたがる？

Dr.セッキー
日本文化研究所
2015

戦前までの「国語」という科目

実は8割が「国語」

情緒教育（文学が担当）

リテラシー教育（読み書き能力）

教養教育（古典が担当）

他の科目の知識も教える場

11

作家神話の形成

Dr.セッキー
日本文化研究所
2015

①、よき作品は作家の意図が込められている

作家の意図が読めない作品はよくない

②、それは正しく読めば辿りつける

作家の意図でない読みは間違っている

作家の意図を読もう！

(学校教育) 例 漱石はこの「こころ」をどういうつもりで書いたのだと思いますか？

12

作家の意図の根拠

Dr.セッキー
日本文化研究所
2015

①、作家の日記

②、作家の創作ノート

③、作家の原稿

文学全集 となる

④、作家の伝記・評伝

立派な文学者として認められる

⑤、作家の知り合いの証言 実証的調査

こうして作家イメージが**固定化**してゆく

(作家神話の生成)

13

作家イメージの逆流

Dr.セッキー
日本文化研究所
2015

「神様」

梶井基次郎

えたいの知れない不吉な境が私の心を始終狂えつづけていた。焦燥と言おうか、嫌悪と言おうか——酒を飲んだあとに宿酔があるように、酒を毎日飲んでいると宿酔に相当した時間がやってくる。それが来たのだ。これはちよつといけなかった。結果した肺病カタルや神経衰弱がいけないのではない。また背を焼くような鬱金などがないのではない。いけないのはその不吉な境だ。以前私を喜ばせたどんな美しい音楽も、どんな美しい詩の一篇も幸福がなくなかった。蓄音器を聴かせてもらいにわざわざ出かけて行っても、最初の二三小節で不意に立ち上りがってしまいたくなる。何かが恥を辱めらざるを得るのだ。それで始終私は街から街を浮浪し廻っていた。

何故だかその原因は見すらすらとくして美しいものに置くひきつけられたのを覚えている。風景にしても裸れかかった樹だとか、その樹にしてもよそよそしい表通りよりもどこか寂しみのある。雨や風が嫌いで干してあったりしたが転がしてあったりむき出しの部屋が覗いていたりする裏通りが好きであった。雨や風が嫌いで干して土に帰ってしまふ、と言ったような暗きのある街で、土曜が開けていたり家窓が覗きかかっていたり——勢いのいいのは植物だけで、時とするとびっくりさせるような向日葵があったりカンナが咲いていたりする。

14

Dr.セッキー
日本文化研究所
2015

15

作家論

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2015

文学を読む場合の最も素朴な方法

- ①、作品の謎を作家に求める
- ②、作品やその他から作家の伝記を再考する
- ③、作品の意図を作家に求める
- ④、幾つかの作品から作家的原理をもとめる

16

作家論の面白さ

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2015

- ①、謎解きのような感覚がある
- ②、作品のイメージが全く変わることがある
- ③、真実のような気がする

17

作家論の問題

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2015

作家は自分に都合の良い解釈に賛成する

(嘘をつく可能性)

(作家と批評家の癒着)

読者は自分たちに都合の良い作者像しか賛成しない

(作家神話による排除の論理)

18

まとめ

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2015

- ①、作家論は最も素朴で率直な方法
- ②、でも強固な作家神話を形成する傾向あり
- ③、でも人気がある方法でもある
- ④、作品イメージが作家イメージをつくったり、その逆という現象が多いという問題あり

Dr. ヒッキー-日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

19



20